

志鳥・大字猿山・大字若林地内において、県営ほ場整備事業に伴い橋梁の新設があり当該路線の起点及び終点の変更があるため、町道路線の区域変更するもの。
〔原案可決〕

変更前

町道1208号線

- ・ 起点・終点 横塚424番地
- 先く同所421番1地先
- ・ 幅員4・5mく5・7m
- ・ 延長141・6m

変更後

町道1208号線

- ・ 起点・終点 横塚字東沼89
- 8番地先く稲尾字宮戸川13
- 62番地先
- ・ 幅員4・5mく6・0m
- ・ 延長158・2m

変更前

町道1426号線

- ・ 起点・終点 志鳥229番地
- 先く同所222番地先
- ・ 幅員4・0mく6・4m
- ・ 延長145・8m

変更後

町道1426号線

- ・ 起点・終点 志鳥字東沼20
- 33番地先く猿山字宮前12
- 55番地先
- ・ 幅員4・0mく6・4m
- ・ 延長166・4m

変更前

町道1428号線

- ・ 起点・終点 志鳥253番地
- 先く同所250番地先
- ・ 幅員4・0mく5・5m
- ・ 延長182・0m

変更後

町道1428号線

- ・ 起点・終点 志鳥字東沼20
- 73番地先く猿山字弁天前1
- 349番地先
- ・ 幅員4・0mく6・0m
- ・ 延長202・6m

変更前

町道3764号線

- ・ 起点・終点 若林字鶴戸沼5
- 5693番地先く同所569
- 8番地先
- ・ 幅員4・0mく4・8m
- ・ 延長107・9m

変更後

町道3764号線

- ・ 起点・終点 若林字鶴戸沼5
- 691番地先く同所5698
- 番地先
- ・ 幅員4・0mく6・0m
- ・ 延長123・5

町道路線の廃止

○境町大字志鳥・大字猿山・大字若林地内において県営ほ場整備事業に伴い橋梁の付替えがあったため当該路線を廃止するもの
〔原案可決〕

町道1423号線

- ・ 起点・終点 志鳥249番地く猿山81番1地先
 - ・ 幅員2・3mく4・4m
 - ・ 延長20・2m
- 町道3769号線
- ・ 起点・終点 若林字鶴戸沼56
 - 91番地先く若林字鶴戸沼5
 - 693番地先

請願・陳情審査結果

○新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める陳情書
〔原案可決〕

陳情者

- 水戸市中央2丁目8番8号
- アシスト第2ビル402号
- 茨城県新聞販売連合会
- 会長 下平 優

○労働者保護ルールの現行制度の維持・改善を求める意見書の採択に関する陳情書
〔継続審議〕

陳情者

- 古河市関戸864番地5
- ファームテムジン101号
- 日本労働組合総連合会茨城県連合会
- 県西地域協議会
- 議長 樋口 健一

意見書の提出

政府関係機関へ次の意見書を提出した。

○新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める意見書

1. 消費税10%への引き上げに際し、複数税率を導入すること。
 2. 新聞へ軽減税率を適用すること。
- 提出先 内閣総理大臣ほか1名。

一般質問

議席4番 櫻井 実 議員



○防災について

Q. 昨年、塚崎地区をモデル地区にしたが、どのような避難対策を推進するのか。

A. 塚崎地区は、防災講習会をするためにモデル選定した。避難対策は基本となる町の計画を作成し、その上で各行政区の実情にあった具体的な避難計画の作成が必要と考える。

（総務部長、生活安全課長）

Q. 各行政区への普及は。

A. 「防災ビデオ」「動くハザードマップ」の提供を受けたので、講習会等で活用し、防災意識の啓発や高揚を図る。

（総務部長、生活安全課長）

○外国語教育について

Q. 全国に先駆けて小学1年生から外国語教育を実施して10年になるが、その教育の成果を町民に発表出来ないか。

A. アンケートの結果、中学生の90%が小学校で体験した英語活動に興味・関心を高めるきっかけになっている。保護者等の要望もあり、「教育振興の集い」や文化祭などで実施について検討する。

Q. 国際社会に通用する人材の育成についてどのように考えているか。

A. グローバルな感覚の育成等により新たな価値感を得るなど学習のモチベーションの向上が期待できる。

Q. 国際交流都市提携の考えは。

A. 新たに国際交流を担当する部署を設けて研究をする。

（町長、教育長、教育次長）

○道路名の呼称について

Q. 圏央道の開通を控え、町内の主要道路に「桜通り」等の愛称を付けてはどうか。

A. 目的・必要性・名称を付けるタイミング、わかりやすさ等名称が定着するために必要な要素などさまざまな観点から検討が必要と考えるので調査研究したい。

（まちおこし推進室長）

議席9番 須藤 信吉 議員



○境・古河インターチェンジ周辺開発について

Q. 近隣の市町村では、開発区域の確定及び、企業との契約が発表されていますが、当町の進捗状況と今後の計画について。

A. 圏央道の整備が進むにつれ、企業立地も活発化してきており、東北道との接点である久喜市には、キックマンや味の素が進出を決定し、幸手インターチェンジ、五霞インターチェンジなども開発が進んでおります当町でも、企業誘致を図る大きなチャンスであり、まず、境古